

第3次伊勢崎市総合計画策定のための 地区別市政懇談会

2024年5月2日（木）

ナルセグループ伊勢崎市民プラザ ホール



第3次伊勢崎市総合計画策定のための 地区別市政懇談会

市長説明「第3次伊勢崎市総合計画の策定について」

1

第3次伊勢崎市総合計画の概要

2

市民参画の経過

3

長期ビジョン（基本構想）（案）

4

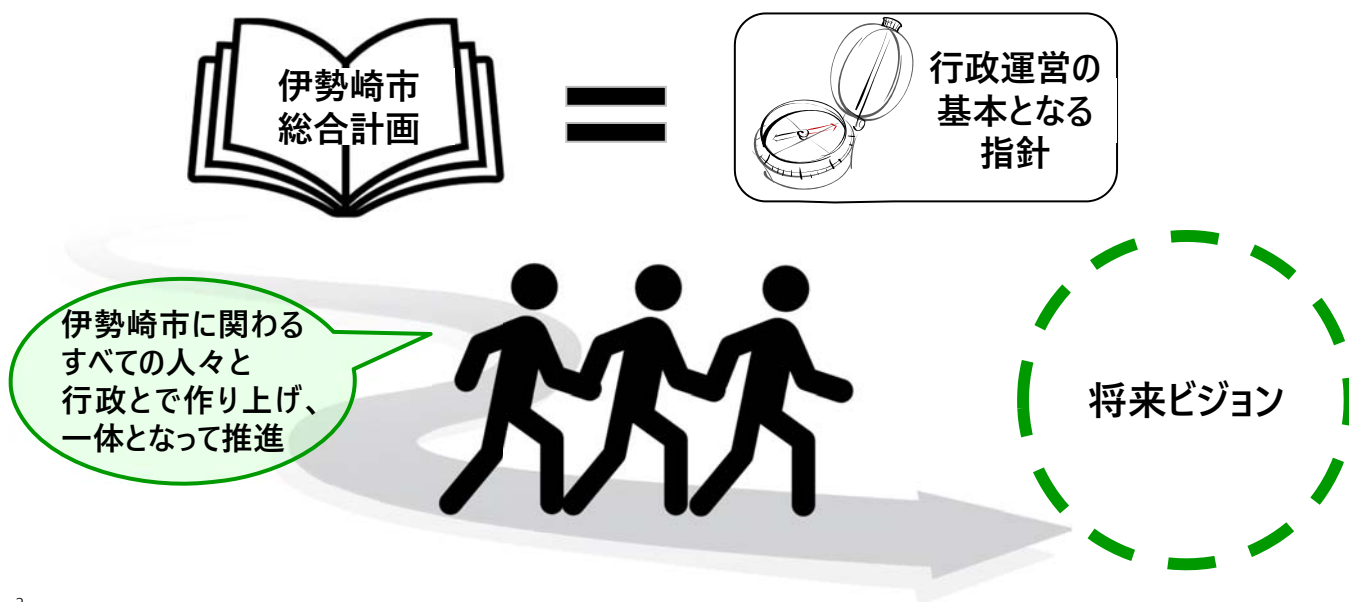
地区別計画のイメージ



まちづくりへの提案、意見の聴き取り

総合計画とは？

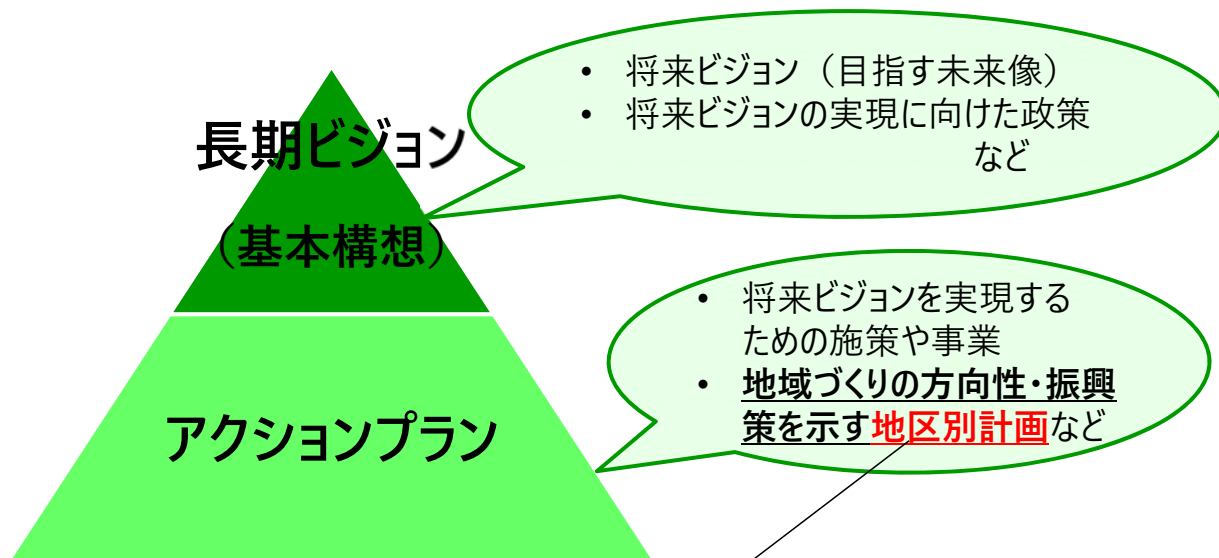
- 市の最上位計画であり、行政運営の基本となる指針
- 伊勢崎市に関わるすべての人々と行政とで作り上げ、一体となって推進していくもの



2

次の総合計画は、「**長期ビジョン（基本構想）**」と「**アクションプラン**」で構成します

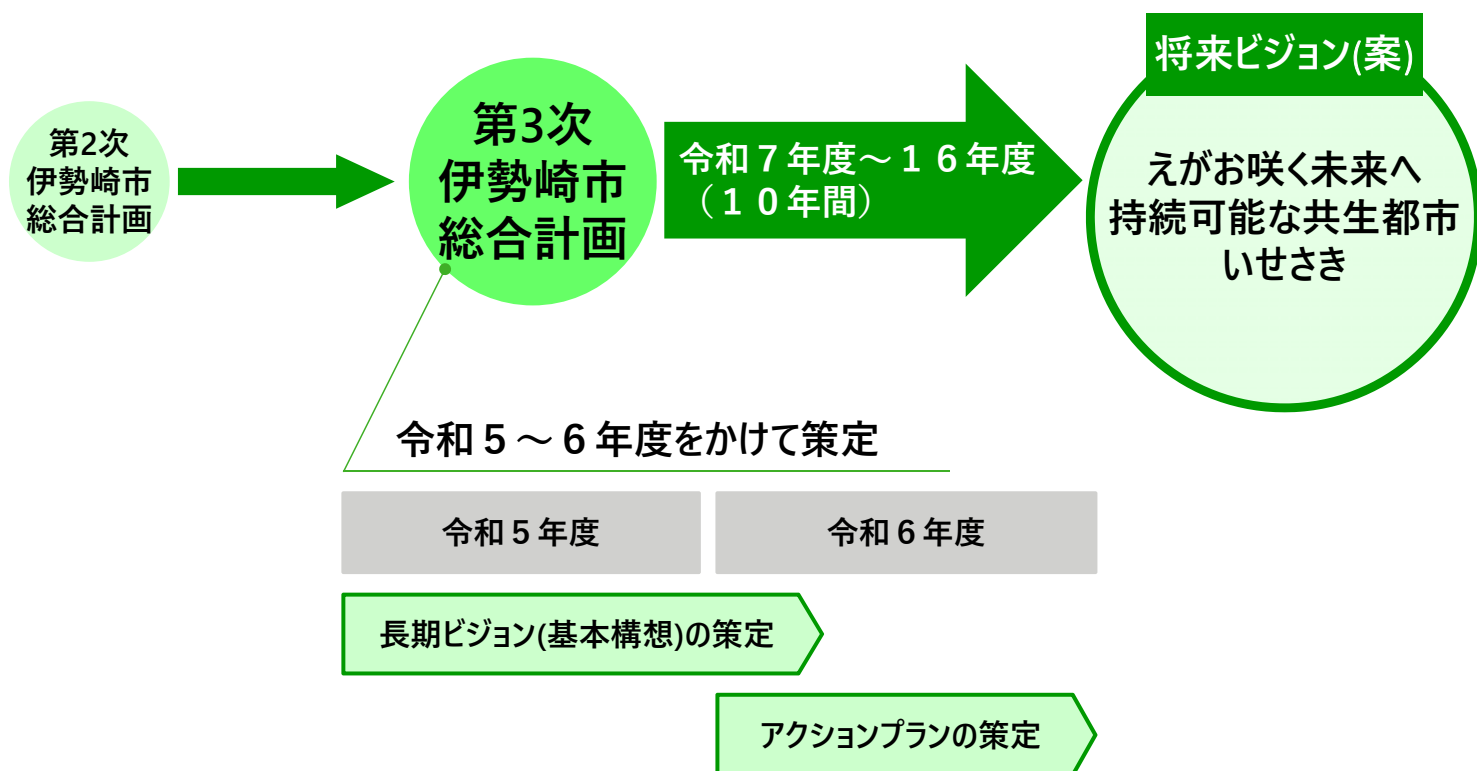
第3次伊勢崎市総合計画



今回の懇談会では、地区別計画を作るためのご提案やご意見をお伺いします！

3

今後10年間の伊勢崎市のまちづくりの方向性を示す計画です



第3次伊勢崎市総合計画策定のための 地区別市政懇談会

市長説明「第3次伊勢崎市総合計画の策定について」

1

第3次伊勢崎市総合計画の概要

2

市民参画の経過

3

長期ビジョン（基本構想）（案）

4

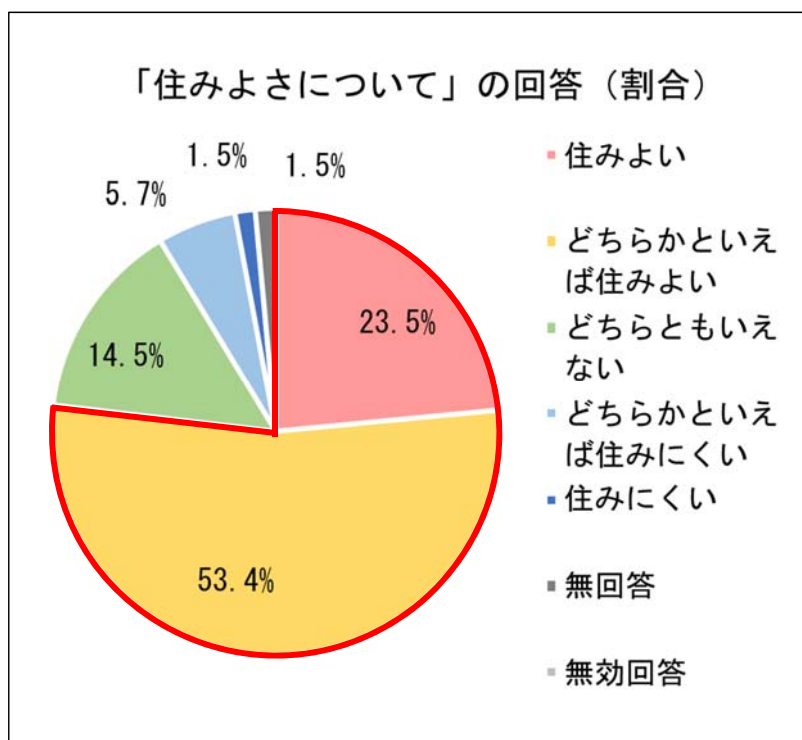
地区別計画のイメージ

まちづくりへの提案、意見の聴き取り

令和5年6月に、市民アンケート調査を実施しました

目的	市民意識の動向と現在の市民の多様なニーズを統計的に把握し、その結果を第3次伊勢崎市総合計画の策定及び今後の市政運営の基礎資料とするため
対象	伊勢崎市内に在住する満18歳以上の市民から無作為に抽出した2,000人
有効回答数	合計：545件 有効回収率（27.3％）
調査期間	令和5年6月9日～令和5年6月30日
調査方法	調査票を郵送し、回答を返信用封筒にて返送または専用ページからインターネットで回答
設問項目	1. 回答者の属性（性別、居住地等） 2. 住みやすさと定住意向 3. 現行の取り組みへの評価（施策の満足度・重要度） 4. 分野別の意見 5. 現在と将来の市について 6. 自由意見

多くの人が本市に住みやすさを感じていることが分かりました



- 「住み良い」、「比較的住み良い」と回答した人は全体の76.9％と大半の人が住み良いと感じていることが分かりました。住み良いと感じた理由としては、「災害が比較的少ないから」、「買い物が便利だから」、「車移動が便利だから」などが多く挙げられました。

福祉の充実や安心して暮らせるまちづくりが重要だと分かりました

市民アンケート調査の結果から、「現在の伊勢崎市のイメージ」と「将来望む伊勢崎市の姿」の差を比較し、現在と将来とのギャップがある項目を抜粋しました。

特に、「高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち」、「防災・防火・救急・防犯・交通安全などが整備され、安心して暮らせるまち」の2項目は、現在のイメージと将来望む姿の差が大きいため、この差を埋める政策を充実させるべきという課題が明らかになりました。

項 目	現在の伊勢崎市のイメージ	現在と将来とのギャップ	将来望む伊勢崎市の姿
子育てしやすく、学校などの教育環境が整っているまち	4位	+1	3位
高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち	9位	+8	1位
防災・防火・救急・防犯・交通安全などが整備され、安心して暮らせるまち	6位	+4	2位
快適な街並みや美しい都市景観に満ちたまち	11位	+1	10位
教育・文化環境が整い、スポーツやレクリエーション活動が盛んなまち	10位	+1	9位
産業が盛んで働く場所が多いまち	8位	+1	7位

市民アンケート調査の結果から、旧伊勢崎地区における各施策の「満足度の順位」と「重要度の順位」の差を比較し、ギャップが大きい施策（重要度が高い一方、満足度が低い施策）を抜粋しました。

※「効率的で効果的な行政運営の推進」及び「安定的な財政運営の推進」を除く。

上位から順に、

「①防犯対策の強化」、「②医療・年金制度の円滑な運営」、「③災害に強いまちづくり」、「④交通安全対策の推進」、「⑤、障害者福祉の充実、公共交通ネットワークの確立、道路の整備と管理」の施策において、重要度が高い一方、満足度は低い結果となりました。

施策名	旧伊勢崎地区		赤堀地区		東地区		境地区	
	ギャップ	順位	ギャップ	順位	ギャップ	順位	ギャップ	順位
防犯対策の強化	+32	①	+36	①	+30	①	+33	①
医療・年金制度の円滑な運営	+22	②	+24	④	+20		+28	②
災害に強いまちづくり	+20	③	+8		+12		+21	⑤
交通安全対策の推進	+16	④	+35	②	+19		+13	
障害者福祉の充実	+14	⑤	-4		-12		+28	②
公共交通ネットワークの確立	+14	⑤	+18		+30	①	+21	⑤
道路の整備と管理	+14	⑤	+23	⑤	+26	④	+21	⑤

※ギャップの値が大きいほど、重要度が高い一方、満足度が低いことを示しています。

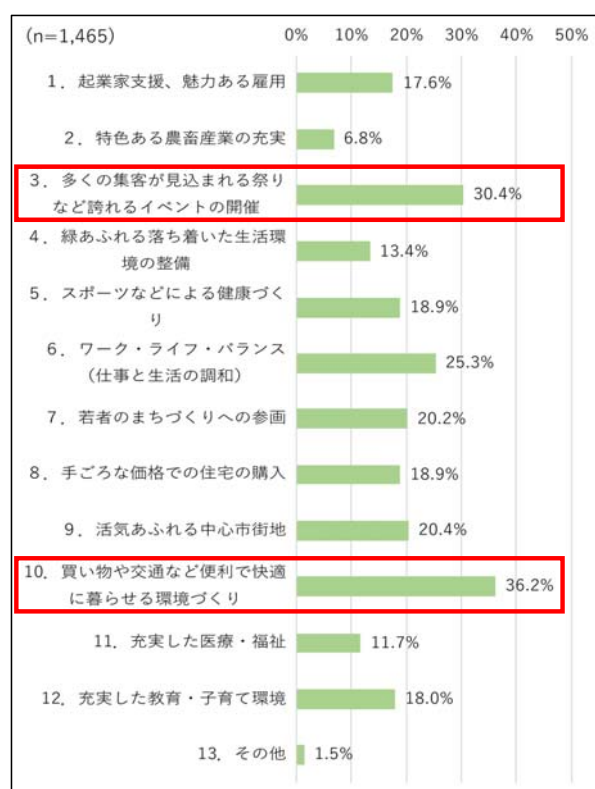
令和5年5～6月に、高校生・大学生アンケート調査を実施しました

目的	将来の伊勢崎市を担う市内の高校、大学に通う若者の意見を把握することで、第3次伊勢崎市総合計画策定及び今後の市政運営に活用する基礎資料とするため
対象	伊勢崎市内の高等学校に在籍する高校2年生 伊勢崎市内の大学に在籍する大学生
有効回答数	合計：1,465件（高校生：1,046件、大学生：419件）
調査期間	令和5年5月25日～令和5年6月16日
調査方法	対象者に調査依頼書を配布し、インターネット専用ページにて回答
設問項目	1. 回答者の属性（性別、居住地等） 2. 住みやすさと定住意向 3. 進路（就職進学） 4. 結婚・子育て 5. 現在と将来の市について 6. 自由意見

利便性の向上や賑わいの創出が重要だと分かりました

設問:伊勢崎市が若い世代（20代～30代）にとって魅力的なまちになるために、重要だと思うことは何ですか。あてはまる選択肢、3つまで選んでください。

■特に「多くの集客が見込まれる祭りなど誇れるイベントの開催」や、「買い物や交通など便利で快適に暮らせる環境づくり」が重要だと考える学生が多くなっています。



令和5年9～10月に、まちづくり市民ワークショップを実施しました

まちづくり市民ワークショップ実施概要

目的	市の魅力や将来の市に対する思いや願いを、他の参加者との交流・意見交換を通じて挙げてもらう場を設定し、市民が主体的に検討した上で、第3次伊勢崎市総合計画の策定に繋げるため		
実施形式	ワールドカフェ形式（※） ※飲食物を用意しリラックスできる雰囲気、グループのメンバーを入れ替えながら話し合いを進めるワークショップ		
	第1回	第2回	第3回
実施日	令和5年9月10日（日）	令和5年9月24日（日）	令和5年10月15日（日）
参加者数	23名	25名	25名
メインテーマ	市の将来像を考える	各世代にとって理想の伊勢崎市を考える	多様な人が共に過ごせる伊勢崎市を考える
ラウンドテーマ	1. 伊勢崎市の好きなところ 2. 他にはない伊勢崎市の魅力 3. 10年後の理想の伊勢崎市	1. こどもにとって理想の伊勢崎市 2. 若者にとって理想の伊勢崎市 3. 高齢者にとって理想の伊勢崎市	1. 地域間の共生 2. 世代間の共生 3. SDGsによる共生（外国人、障害者など）

ワークショップでは意見を付箋に書いて他の参加者と互いに共有しました

まちづくり市民ワークショップの様子



<グループディスカッションの様子>



<伊勢崎市の各地区の特徴について>



令和6年4～5月にかけても、アクションプラン策定のためのまちづくり市民ワークショップを開催します！

令和5年11月に、市長懇話会を実施しました

目的	まちづくり全般について、市内で活動している様々な団体等と市長が直接対話することにより、市民の市政への参加促進を図るとともに、市民の意見を伺い総合計画の策定に活用するため		
テーマ	- 地域の課題及び理想像について - 今後の方向性について		
	第1回	第2回	第3回
実施日時	令和5年11月7日（火）	令和5年11月7日（火）	令和5年11月17日（金）
分野	多文化共生・教育	教育・スポーツ	防災・福祉
参加団体	- NPO法人 伊勢崎日本語ボランティア協会 - 子ども日本語教室・未来塾	- 伊勢崎市PTA連合会 - 一般財団法人 伊勢崎市スポーツ協会	- 伊勢崎市防災と福祉を考える会 - 伊勢崎市障害児者親の会ネットワーク

令和6年1月から2月にかけて、パブリックコメント手続を実施しました

実施期間	令和6年1月18日（木）から令和6年2月16日（金）まで
対象	第3次伊勢崎市総合計画長期ビジョン（基本構想）（素案）
結果	意見の提出はありませんでした。

14

今後も市民参画の場を設けていきます

市民参画の手法	実施時期（予定）
地区別市政懇談会 ※今回	令和6年4月～5月
まちづくり市民ワークショップ	令和6年4月～5月
関係団体等ヒアリング	令和6年6月
パブリックコメント手続（前期アクションプラン）	令和6年10月～11月

15

第3次伊勢崎市総合計画策定のための 地区別市政懇談会

市長説明「第3次伊勢崎市総合計画の策定について」

1

第3次伊勢崎市総合計画の概要

2

市民参画の経過

3

長期ビジョン（基本構想）（案）

4

地区別計画のイメージ

まちづくりへの提案、意見の聴き取り

16

3

長期ビジョン（基本構想）（案）

長期ビジョン（基本構想）の骨子（ミッション・ビジョン・バリューの枠組みで整理）

経営理念の構成要素の定義		民間企業のMVV		国・自治体のMVV	
ミッション （使命）	社会で実現したいこと、組織としての存在意義	ソフトバンク	キリン	デジタル庁	第2期恵那市ICT活用推進計画
		情報革命で人々を幸せに	キリングroupは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します	誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を。	デジタルを活用して、市民の多様な幸せと地域社会の発展を支える
		「世界に最も必要とされる会社」を目指して	食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV先進企業となる。	優しいサービスのつくり手へ。大胆に革新していく行政へ。	多様な価値を創造し、誰もが暮らしやすく、安心・安全で、豊かさを実感できるデジタル社会
バリュー （行動指針、価値観）	行動規範 まもるべき価値観	—	熱意・誠意・多様性〈Passion. Integrity. Diversity.〉	一人ひとりのために常に目的を問いあはゆる立場を超えて成果への挑戦を続けます	◎ 暮らしを変える（安心・安全、豊かさ・便利さ） ◎ 仕事・働き方を変える ◎ 行政運営を変える ◎ 意識を変える

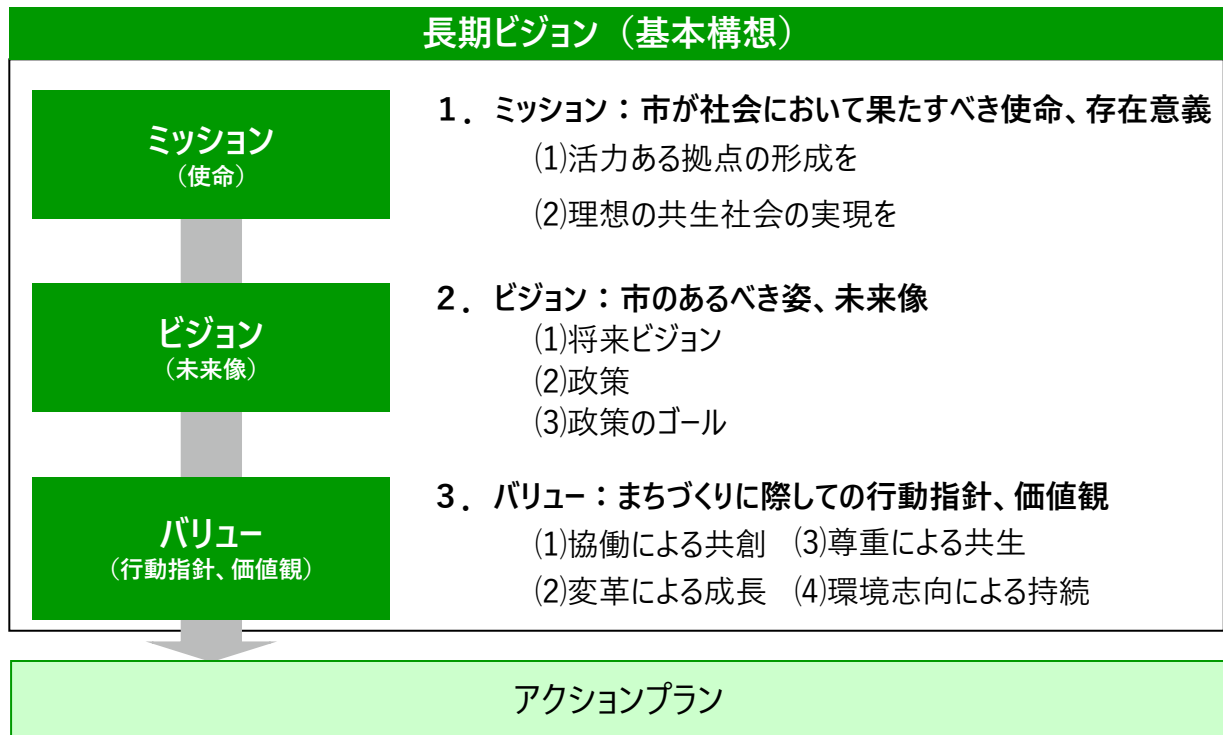
出典：各企業ホームページ

具体的行動

（※）経営学者のピーター・ドラッカーが整理・提唱した概念で、多くの企業が定義している。

17

長期ビジョン（基本構想）は大きく「ミッション」、「ビジョン」、「バリュー」の3つで構成しています



本市の特徴を踏まえ、「ミッション」を以下のとおり2つ定めます

ミッション

市が社会において果たすべき使命、存在意義

1

活力ある拠点の形成を

農業、商業、工業などあらゆる産業を発展させ、チャンスを生かし活力あふれる拠点を形成します。

2

理想の共生社会の実現を

国籍、文化、世代、障害、地域など、様々な特性を理解し、尊重し合うことにより、新たな価値を創出し、理想の共生社会を実現します。

「ビジョン」は、「将来ビジョン」、「政策」、「政策のゴール」の3つで構成します

ビジョン 市のあるべき姿、未来像

- 1 将来ビジョン 長期的な視点で目指す市の未来像
- 2 政策 将来ビジョンを実現するための政策
- 3 政策のゴール 政策ごとに今後10年間で達成する姿

将来ビジョン	政策	政策のゴール
い 持 え せ 続 が さ 可 お き 能 咲 な く 共 未 生 来 都 へ 市 	子育て・教育	未来の担い手が育ち、全ての人が成長し続けられるまち
	健康・福祉	誰もが健康で互いに支え合いながら生き生きと暮らせるまち
	産業・観光・文化	経済の好循環が生まれ、活気にあふれ人が集えるまち
	まちづくり	住環境と自然環境が調和した、心地良い空間で暮らせるまち
	安心安全	1人ひとりが日頃から安全を意識し、安心して暮らせるまち
	環境	あらゆる活動で環境に配慮し、1人ひとりが脱炭素社会や循環型社会の実現に向けて行動できるまち
	共生・共創・行財政	互いに認め合い、共に創る、未来に向かって持続発展できるまち

20

「バリュー」は以下の4つの指針から構成します

バリュー まちづくりに際しての行動指針、価値観

- 1 **協働による共創**
市民、企業、団体、行政など多様な主体がそれぞれの強みを生かしながら協力し、生き生きと過ごせるまちを共に創ります。
- 2 **変革による成長**
めまぐるしく変化する社会情勢に対応するため、新たな考え方や先進的な技術を柔軟に取り入れながら、着実に成長していけるまちづくりを進めます。
- 3 **尊重による共生**
国籍、文化、世代、障害、地域などあらゆる多様性を尊重し認め合い、1人ひとりが自分らしく過ごせるまちづくりを進めます。
- 4 **環境志向による持続**
本市のあらゆる資源を環境の視点から最大限に活用し、将来にわたって持続するまちづくりを進めます。

第3次伊勢崎市総合計画策定のための 地区別市政懇談会

市長説明「第3次伊勢崎市総合計画の策定について」

1

第3次伊勢崎市総合計画の概要

2

市民参画の経過

3

長期ビジョン（基本構想）（案）

4

地区別計画のイメージ



まちづくりへの提案、意見の聴き取り

22

4

地区別計画のイメージ

第3次伊勢崎市総合計画では、地区別計画を作成します

地区別計画

- 地区ごとの**地理的特徴・地域資源・地域活動**などを紹介し、**地域の強み・課題**や、それらを踏まえた**地域づくりの方向性・振興策**を掲載します。
- 旧伊勢崎・赤堀・東・境の4地区について、地区ごとに作成します。

1

地理的特徴・地域資源・地域活動

各地区の地理的な特徴、独自の文化、イベント、活動などを整理して掲載します。

2

地域の強み・課題

各地区の将来を見通し、生かすべき地域資源やインフラなどの強み、良いところ、困り事や不便な点といった課題などのご意見を参考に、地域の強みや課題を整理して掲載します。

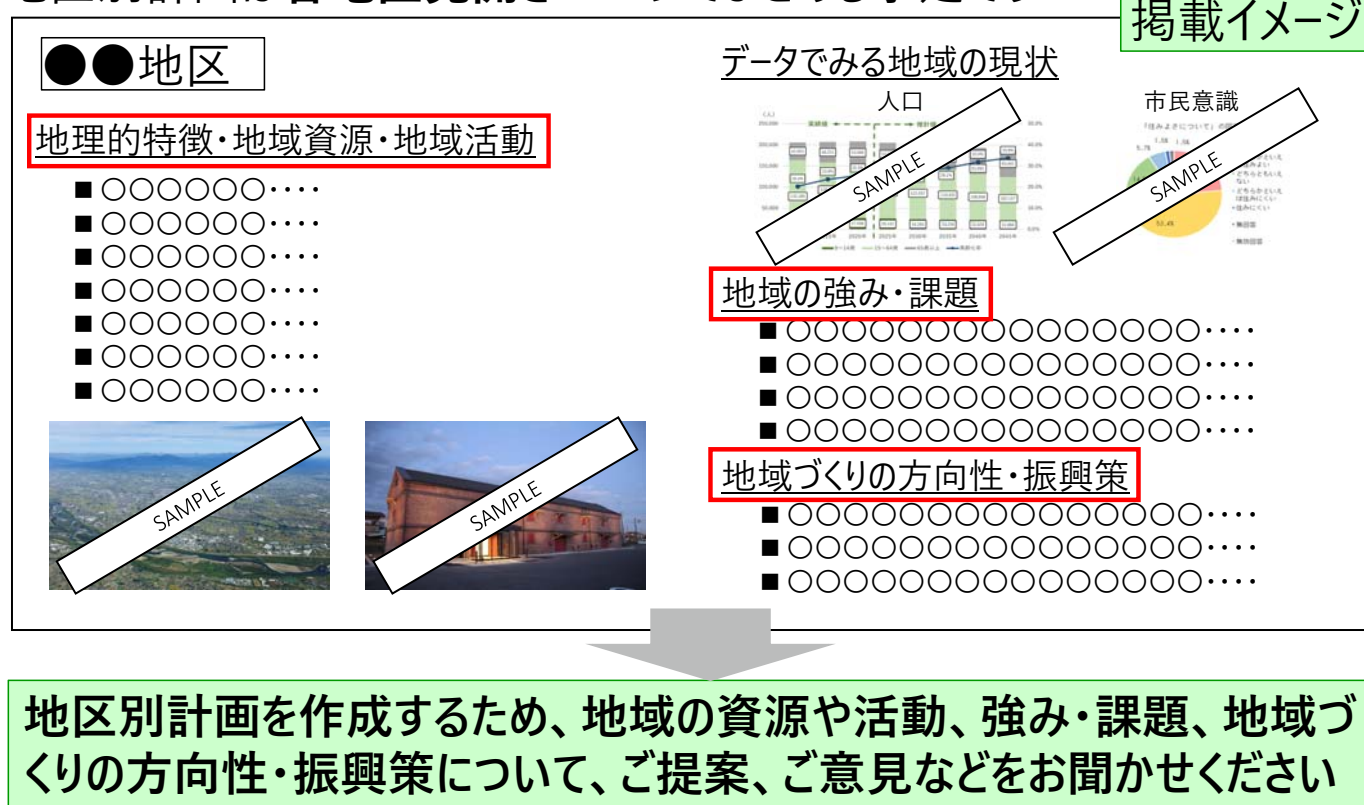
3

地域づくりの方向性・振興策

将来どういう地区にしていきたいか、どういったことに力を入れていくべきかのご意見を参考に、これからの地区の方向性、振興策を掲載します。

23

地区別計画は各地区見開き1ページでまとめる予定です



第3次伊勢崎市総合計画策定のための 地区別市政懇談会

市長説明「第3次伊勢崎市総合計画の策定について」

1

第3次伊勢崎市総合計画の概要

2

市民参画の経過

3

長期ビジョン（基本構想）（案）

4

地区別計画のイメージ

まちづくりへの提案、意見の聴き取り

まちづくりへの提案、意見の聴き取り

地区別計画を作成するため、ご提案、ご意見などをお聞かせください

○地理的特徴・地域資源・地域活動について

・地区の地理的な特徴、独自の文化、イベント、活動などについてお聞かせください

○地域の強み・課題について

・生かすべき地域資源やインフラなどの強み、良いところ、困り事や不便な点といった課題などについてお聞かせください

○地域づくりの方向性・振興策について

・将来どういう地区にしていきたいか、どういったことに力を入れていくべきか、これからの地区の方向性、振興策などをお聞かせください

26

閉会

本日は市政懇談会にご参加いただき、ありがとうございました。
地区別計画の策定に対する皆様のご提案やご意見等は、本日お配りしたアンケートでも募集しています。アンケート用紙にご記入いただき、受付の回収箱に投函してください。

※5月9日(木)までに、市役所本庁の企画調整課、またはお近くの支所・公民館へ提出することもできます。

※インターネットでの回答も5月9日(木)まで受け付けています。



インターネットで回答する方はこちら
<https://logoform.jp/form/Gpfu/543593>



総合計画の策定について詳しく知りたい方はこちら
※伊勢崎市の総合計画のページへアクセスできます
<https://www.city.isesaki.lg.jp/soshiki/kikakubu/kiku/kikaku/soukei/18378.html>

27